

（資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会）

原子力等エネルギー・資源、持続可能社会に関する調査報告要旨

本調査会は、原子力等エネルギー・資源、持続可能社会に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、令和四年十月三日に設置され、三年間の調査テーマを「資源エネルギーの安定供給確保と持続可能社会の調和」とし、このうち、一年目は「資源エネルギーと持続可能社会をめぐる情勢」、二年目は「資源エネルギーの安定供給確保と持続可能社会の調和に向けた論点整理」を調査項目として取り上げ、調査を行った。

最終年に当たる三年目においては、「資源エネルギーの安定供給確保と持続可能社会の調和に向けた戦略」を調査項目として、「エネルギー安全保障の確立に向けた方策」及び「脱炭素社会の実現に向けた方策」について、参考人から意見を聴取し質疑を行った。また、この三年間の調査を踏まえ、政府から説明を聴取し質疑を行うとともに、委員間の意見交換を行った後、調査報告書を取りまとめ、令和七年六月四日、議長に提出した。

本報告書においては、これまでの調査の概要をまとめるとともに、エネルギー安全保障の確立、脱炭素社会の実現に向けたエネルギー政策の在り方、イノベーションの推進、需要側の取組の推進、循環経済（サー

キュラーエコノミーへの移行、公正な移行、持続可能社会の実現に向けた地域の取組及び人材の育成・確保を柱として掲げる提言を行っている。